

らず、現在のところ岡山県内の確実な生息地はここだけである。しかし、この生息地についても、遷移が進んでおり、ノイバラ、ミヤコイバラ、ヨシなどが繁茂しているので、数年後には本種の生息環境として適さない状況になることが予想される。

末筆ではあるが、倉敷市立自然史博物館の奥島雄一博士、愛媛大学ミュージアムの吉富博之博士には原稿を校閲いただいた。また、山地 治氏には、県内における本種の情報を御教示いただいた。これらの方々に対し、厚くお礼を申し上げる。

引用文献

- 森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 231 pp. 文一総合出版, 東京.
岡山県生活環境部自然環境課編, 2010. 岡山県版レッドデータブック 2009 動物編. 416 pp. 岡山県生活環境部自然環境課.
山地 治, 1990. 岡山県より採集した甲虫類の記録. すずむし, (124): 11-19.

(〒 717-0513 岡山県真庭市蒜山下和 1077
真庭市津黒いきものふれあいの里 渡部晃平)

【短報】屋久島産ツツヒラタムシ科2種の記録

ツツヒラタムシ科は、一般に日本では採集記録が少ない甲虫で、日本からは6種が知られている (Sasaji, 1993; Aoki, 2008). そのうちの2種、ツツヒラタムシ *Ancistria apicalis* Reitter およびクロサワツツヒラタムシ *Ancistria kurosawai* Sasaji が屋久島から記録されている (Satô, 1970; Sasaji, 1993). 筆者は屋久島初記録と思われる1種を含む2種のツツヒラタムシ科甲虫を所持・採集しているので報告する。

ツツヒラタムシ *Ancistria apicalis* Reitter

1ex., 鹿児島県熊毛郡屋久町花山歩道, 16. VII. 2001, 向山敬延採集; 1ex., 屋久町原, 23. IX. 2002, 同採集者; 1ex., 同採集地採集者, 1. V. 2004; 2exs., 同採集地採集者, 25. VI. 2004; 1ex., 同採集地採集者, 12. VII. 2004.

Satô (1970) および Sasaji (1993) により屋久島から既に記録されている。

ルイスツツヒラタムシ *Ancistria lewisi* Reitter

1ex., 鹿児島県熊毛郡屋久町中間, 1. V. 2004, 田中 稔採集.

佐々治 (1985) は九州を分布地として挙げており、屋久島初記録と思われる。

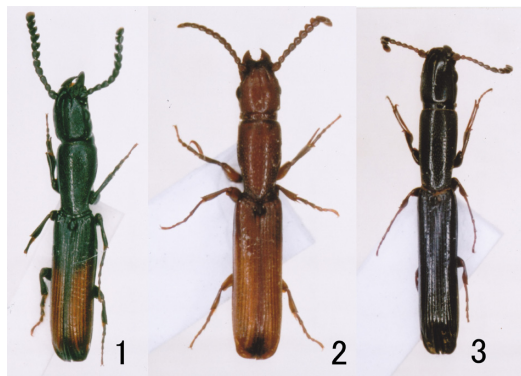


図1-3. 屋久島産ツツヒラタムシ類. 1, ツツヒラタムシ; 2, ツツヒラタムシ (テネラルな個体); 3, ルイスツツヒラタムシ.

標本を提供して頂いた向山敬延氏、文献についてお世話になった大平仁夫氏にお礼申し上げます。

引用文献

- Aoki, J., 2008. A new species of *Passandra* (Coleoptera, Passandridae) from Japan, formerly classified as *P. trigemina* (Newman). *Elytra*, Tokyo, 36(1): 37-41.
Satô 1970. Miscellaneous notes on the Coleoptera-fauna of the Ryukyu Archipelago, III. *Bulletin of Japan entomological Academy*, Nagoya, 5: 30.
佐々治寛之, 1985. ツツヒラタムシ科, p. 199, pl. 32. 黒澤良彦ほか編, 原色日本甲虫図鑑 (III), 保育社, 大阪.
Sasaji, H., 1993. Contribution to the taxonomy of the superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her adjacent districts, VII. *The Memoires of the Faculty of Education, Fukui University, Series II (Natural Science)*, (44): 17-25.

(〒 663-8002 西宮市一里山町 19-18
田中 稔)

【短報】東京都におけるナカネダルマガムシとハセガワダルマガムシの採集例

ナカネダルマガムシ *Ochthebius nakanei* は, Matsui (1986) が熊本県菊池溪谷産をもとに記載したダルマガムシ科の小甲虫である。

吉富ら (2000) は、原記載地に加えて愛知、栃木、新潟の各県からの既知産地をまとめ、新たに栃木、山梨、大分から記録を追加している。同時期に、豊田 (2000) も埼玉県から記録しているが、その産地は概して少ない。

筆者は、東京都の奥多摩町で本種を採集しているので記録しておく。

5exs., 西多摩郡奥多摩町留浦三沢 (峰谷川), 21. V. 2011; 25exs., 奥多摩町大丹波真名井沢, 12. VI. 2011;

9exs., 奥多摩町大丹波（大丹波川）, 12. VI. 2011, いずれも筆者保管。

東京都初記録。溪流の流れ中に突出した岩上水際の、飛沫がかかるような微環境より採集した。

5月調査時には、わずかな採集個体の半数に触角や脚の一部に欠損がみられ、成虫と同環境に本種と思われる幼虫（終齢と推測された）が多数観察できた。当日、本種以外に、セスジダルマガムシ属の成虫は見いだしていない。6月には別地点での調査を行い、このときには成虫は多くみられたが、幼虫は確認できなかった。

なお、6月調査時にはハセガワダルマガムシ *Ochthebius hasegawai* Nakane and Matsui, 1986 を同時に採集しているので合わせて記録しておく。



図1. ダルマガムシ2種が確認された環境（奥多摩町大丹波川）。

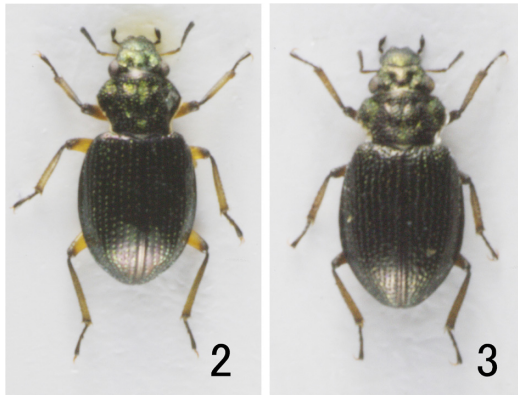


図2. ナカネダルマガムシ；図3. ハセガワダルマガムシ（いずれも奥多摩産）。

2exs., 奥多摩町大丹波真名井沢, 12. VI. 2011; 1ex., 奥多摩町大丹波（大丹波川）, 12. VI. 2011; 20exs., 奥多摩町南水川（多摩川）, 4. VII. 2011, いずれも筆者保管。

ハセガワダルマガムシについては、東京都からは Matsui (1986) による小仏峠からの既記録がある。6月調査時には、ナカネダルマガムシが確認された

岩と同一の岩上、7月調査時には、より下流のオープンな河川環境で本種のみが確認された。

末筆ながら、本稿を草するにあたり、種々ご教示をくださった吉富博之氏（愛媛大学農学部）に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Matsui, E., 1986. Notes on some new Hydrophiloidea from Japan (Coleoptera). Papers on Entomology Presented to Prof. Takehiko Nakane in Commemoration of His Retirement, Special Bulletin of the Japanese Society of Coleopterology, 81–90 pp.
- 豊田浩二, 2000. 埼玉県のダルマガムシについて. 寄せ蛾記, (94): 2835–2837.
- 吉富博之・松井英司・佐藤光一・疋田直之, 2000. 日本産セスジダルマガムシ属概説. 甲虫ニュース, (130): 5–11.

(〒350-0825 川越市月吉町 32-17 亀澤 洋)

【短報】栃木県におけるミナミナガヒメタマキノコムシの記録

ミナミナガヒメタマキノコムシ *Liocyrtusa onodai* Hoshina は、屋久島産雄1頭の標本を基に保科博士により1998年に新種として記載された種で、その後、Hoshina & Kannô (2002) によって三重県より新たに記録された。

筆者は以下のように栃木県より本種を得ているので報告する。雑木林に設置した FIT（フライト・インターセプト・トラップ）により得た。採集は全て筆者である。保科博士のご教示によれば、いまのところ本種の北限記録とのことである。

1ex., 栃木県足利市大沼田町, 9–13. III. 2011, (大川標本保管)；1ex., 同, 13–18. III. 2011, (保科博士標本保管)；1ex., 同, 18–25. III. 2011, (保科博士標本保管)。

最後に、同定ならびに種々ご教示賜った福井大学の保科英人博士に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Hoshina, H., 1998. First record of the genus *Liocyrtusa* (Coleoptera, Leioididae) from Japan, with a description of a new species. Ent. Rev. Japan, 53: 9–13.
- Hoshina, H. & K. Kannô, 2002. Further notes on the *Liocyrtusa onodai* Hoshina (Coleoptera, Leioididae, Leioidinae). Ent. Rev. Japan, 57: 127–128.

(〒326-0043 足利市助戸仲町 820-1 大川秀雄)